

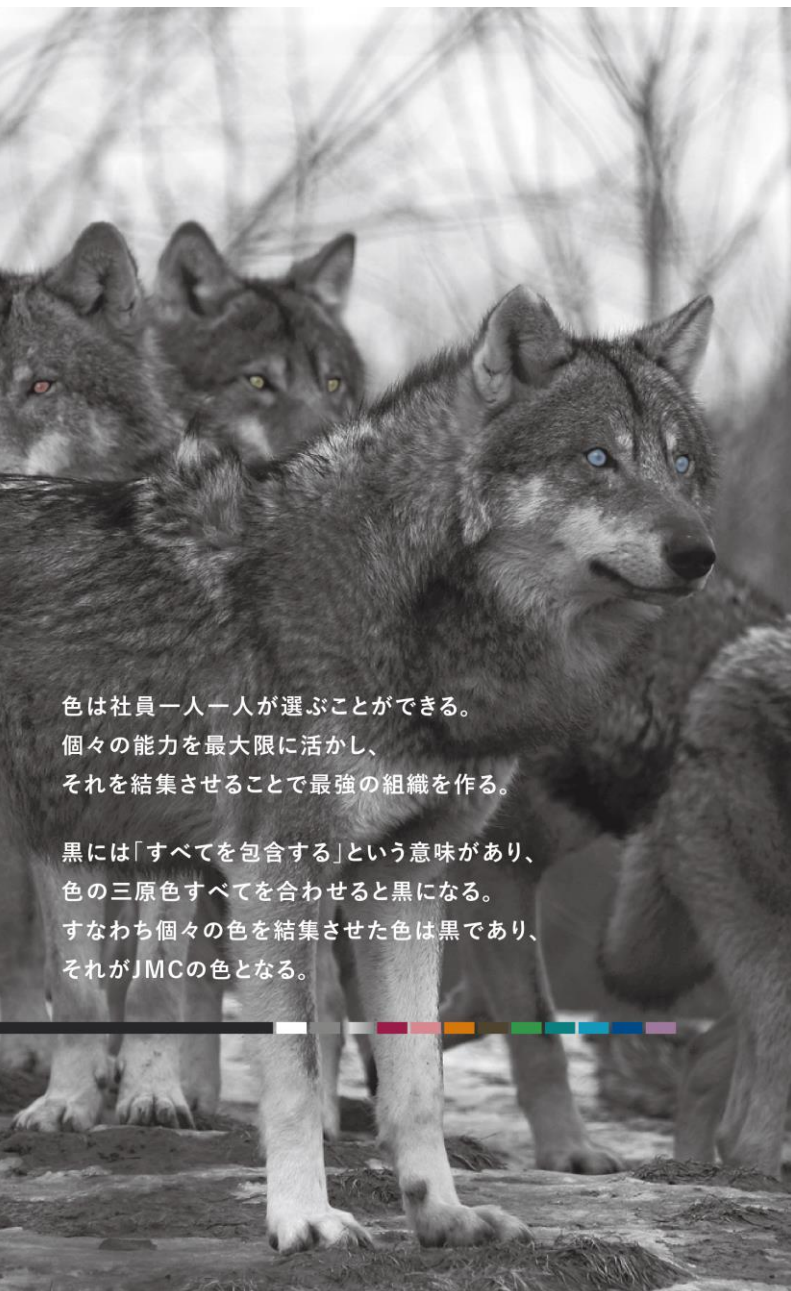


会社説明会

株式会社JMC

[証券コード: 5704]

2018年9月8日



色は社員一人一人が選ぶことができる。
個々の能力を最大限に活かし、
それを結集させることで最強の組織を作る。

黒には「すべてを包含する」という意味があり、
色の三原色すべてを合わせると黒になる。
すなわち個々の色を結集させた色は黒であり、
それがJMCの色となる。



この国のものづくりを置き去りにする

会社名 株式会社JMC

設立 1992年12月

資本金 758百万円

上場市場 東京証券取引所マザーズ(5704)

従業員数 105名(2018年6月末現在)

代表者 代表取締役社長 渡邊 大知

本社所在地 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

役員一覧



代表取締役CEO

渡邊 大知

専務取締役COO

鈴木 浩之

取締役CFO

篠崎 史郎

取締役

山崎 晴太郎

(株式会社セイトロウデザイン代表取締役)

自己紹介

代表取締役CEO

渡邊 大知

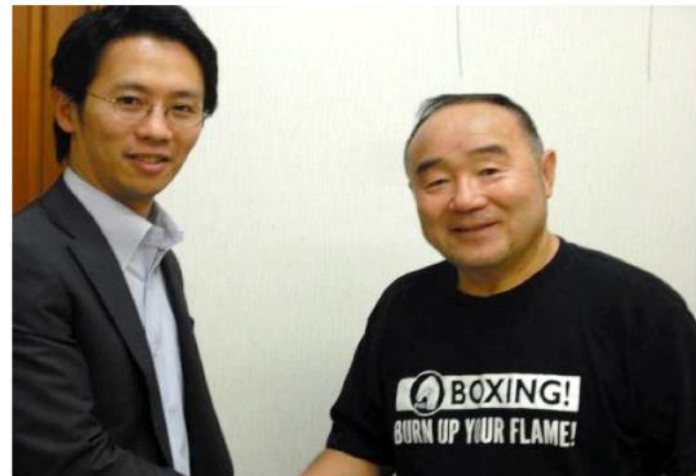
1974年 山梨県生まれ 現在44歳

1992年 甲府第一高等学校卒業

1993年 プロボクシング デビュー

1999年 プロボクシング引退、当社入社

2004年 当社代表取締役就任



3Dプリンターブームによるメディア露出の増加

主なテレビ取材

2012年	NHKオンライン
2013年	ワールドビジネスサテライト「特集 町工場」 がっちリマンデー
2014年	ウッティタウン6丁目 池上彰 解説塾 ZIP !
2015年	NEWS JAPAN
2016年	ガイアの夜明け
2018年	ワールドビジネスサテライト Newsモーニングサテライト



自己紹介

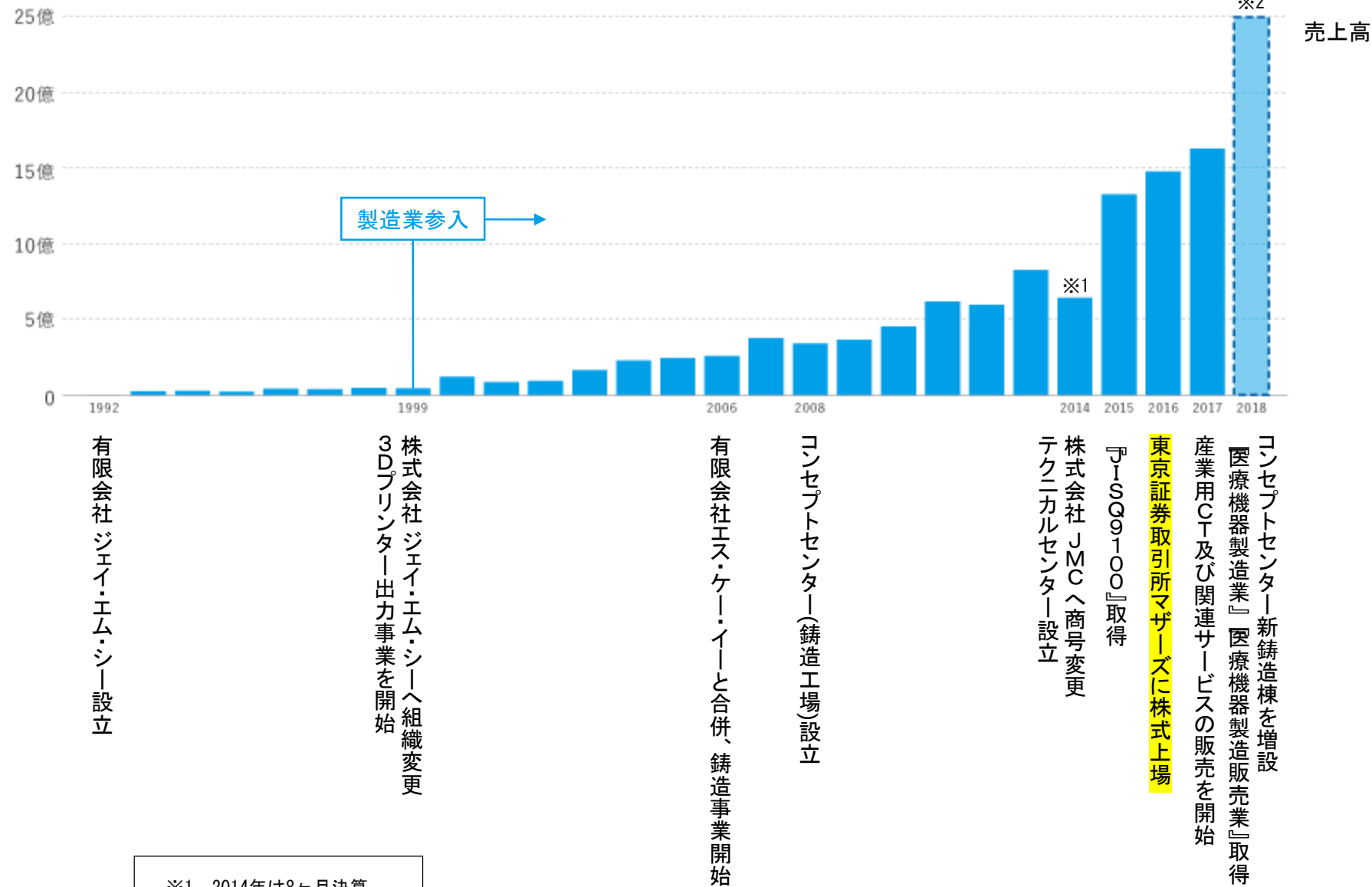
2014年 「新ものづくり研究会」の委員に選出

総理官邸「経済の好循環懇親会」へ出席



沿革

(単位=円)



※1 2014年は8ヶ月決算
※2 2018年の売上高は予想

事業拠点



コンセプトセンター
長野県飯田市
(鋳造事業、CT事業)



本社
神奈川県横浜市港北区
(3Dプリンター出力事業、CT事業)



鴨居テクニカルセンター
神奈川県横浜市都筑区
(3Dプリンター出力事業)



試作・少量量産のプロフェッショナル

株式会社JMCは、試作・小ロット量産の領域に特化して、最先端のものづくりを目指しています。伝統的な職人技とデジタル技術の両者の強みを生かし、製品開発すべてのフェーズに対してお客さまのご要望に応えるサービスを提供すべく、各事業間におけるシナジーを最大限追求しています。

3Dデータ作成

CADモデリング・リバー
エンジニアリング

3Dプリンター

1個から数個までの試作品
量産前の形状確認

砂型 casting

アルミニウム、マグネシ
ウム合金の少量量産品

検査・測定

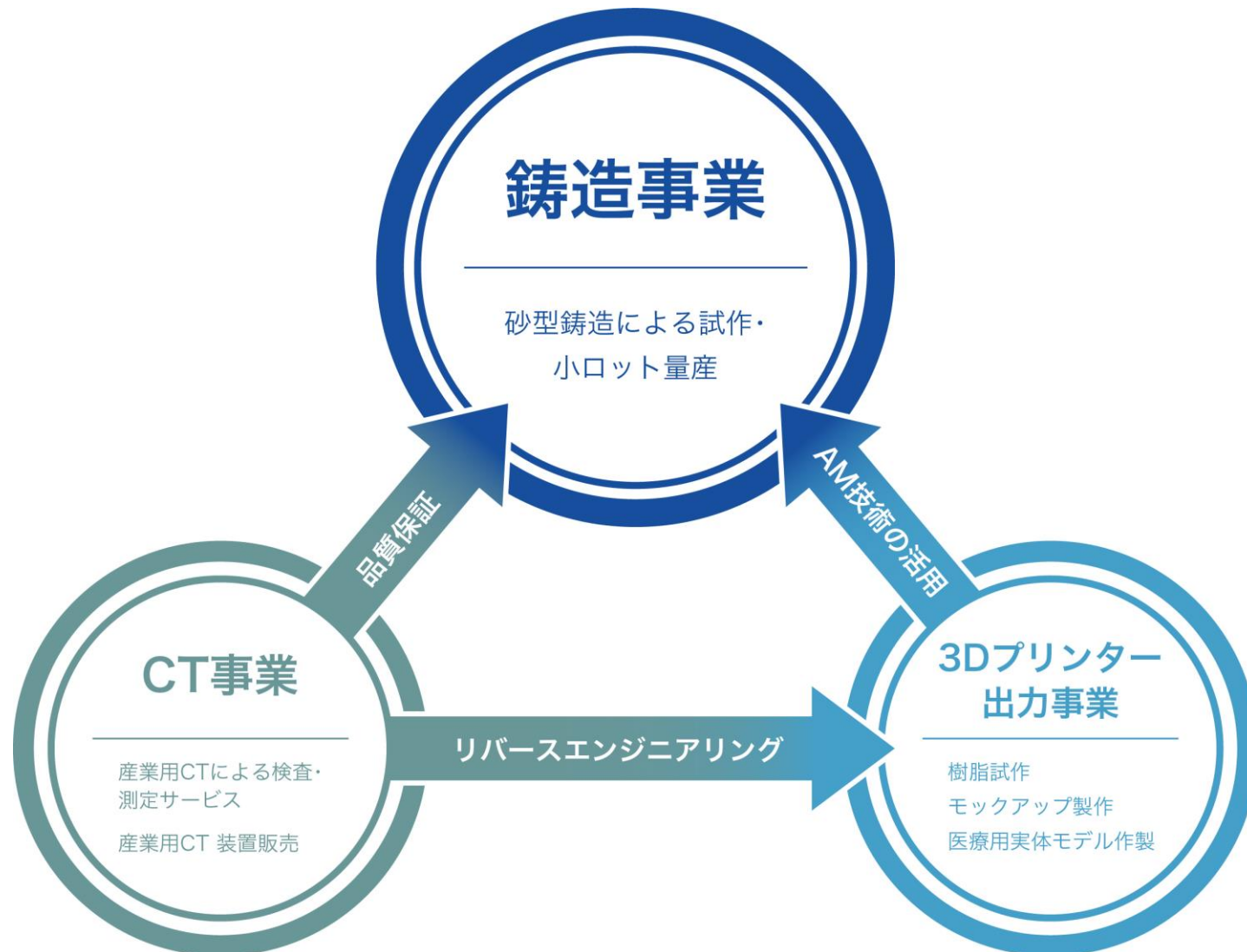
CTスキャン、非接触測定

データ作成

試作

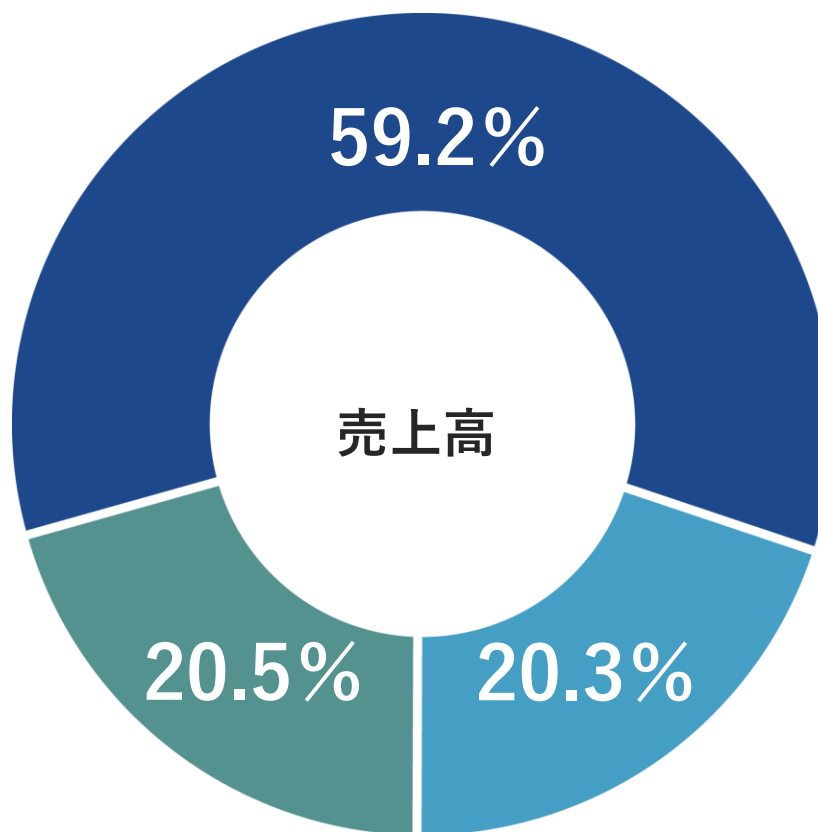
少量量産

製造フェーズ



事業別売上高比率

2018年12期 第2四半期



■ 3Dプリンター出力事業
■ 鋳造事業 ■ CT事業



主な取引業界

3Dプリンター出力事業



大手自動車メーカー



医療機器メーカー



化粧品メーカー



文具・雑貨メーカー

鋳造事業



大手自動車メーカー



産業機器メーカー



船外機メーカー



ロボット開発メーカー

CT事業



大手自動車メーカー



医療機器メーカー



材料メーカー



大学・研究機関

大量生産から適量生産へ



航空宇宙



少量しか作らない

10個～100個

自動車・バイク・産業機器・家電など



量産からパターンオーダー

100個～1,000個

医療



オーダーメイド

1個～10個

3Dプリンター出力事業 - 事業概要



3Dプリンター出力事業について

主に製品開発を行う顧客向けに、機能・形状検証用の試作品を4方式の3Dプリンター16台（光造形方式8台、粉末焼結（ナイロン造形）方式4台、粉末固着（石膏造形）方式2台、インクジェット方式2台）を駆使し作製しております。

JMCの優位性

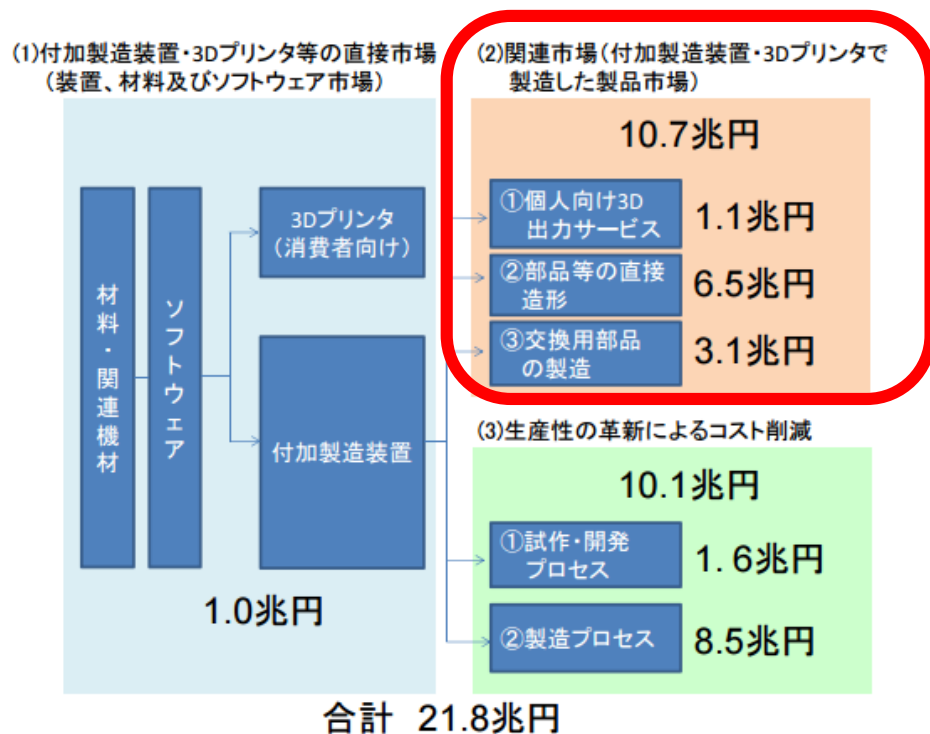
- 1時間以内の見積対応
- 年中無休の稼働体制による迅速な製造
- 独自管理と独自のプログラムによる高精度
- 国内最大規模の3Dプリンターの保有台数

3Dプリンター出力事業 - 製品例



3Dプリンター出力事業 - 市場の拡大

3Dプリンター関連市場は拡大する予測



2020年には付加製造装置・3Dプリンタは広く一般消費者、産業界で用いられるようになり、その経済波及効果は世界全体で合計約21.8兆円に達するものと考えられる。内訳は、付加製造装置・3Dプリンタ等の直接市場で約1.0兆円、関連市場で約10.7兆円、生産性の革新で約10.1兆円となる見込みである。

図表 15 付加製造装置・3Dプリンタによる経済波及効果試算

(出所) 平成26年2月 新ものづくり研究会報告書

3Dプリンターブームの変遷



2009 年

特定の3Dプリント技術の特許が切れる。

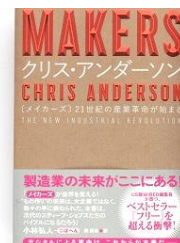
2012 年

オバマ大統領が米国で3Dプリンターを後押し。



2016年

米ゼネラル・エレクトリック (GE) が欧州の3Dプリンター企業2社を約1450億円で買収。



クリス・アンダーソン著書の「MAKERS」がベストセラーに。



ひとりメーカー

3Dプリンター出力事業 - 設備状況



国内最大規模 16台保有

光造形方式	8台
粉末焼結方式	4台
粉末固着方式	2台
インクジェット方式	2台

3Dプリンター出力事業 - 医療分野への活用

医療現場はCTスキャナ等、3次元データの活用が常識



複雑な形状の造形技術が必要であるからこそ、3Dプリンター出力事業との親和性が高い



心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID」の販売

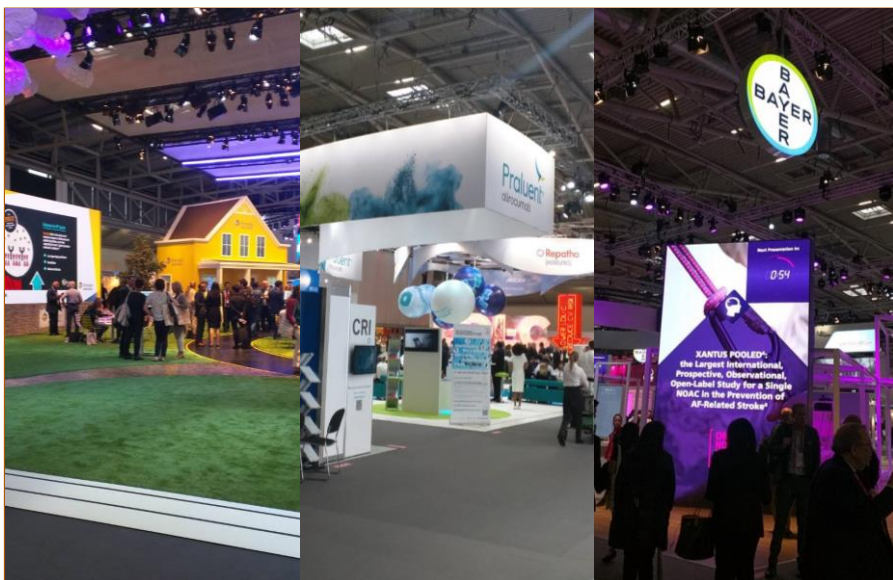


「3Dプリンターを駆使した心血管モデルの研究開発」

3Dプリンター出力事業 - HEARTROIDの拡販

心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID」の販売施策

- 国内外の販売代理店戦略
- 心血管領域に関する世界最大級の学会である「ESC Congress」、世界最大の医療機器展示会である「MEDICA」への出展・出品



ESC Congress

2018年8月25日～29日
ミュンヘン / ドイツ



MEDICA

2018年11月12日～15日
デュッセルドルフ / ドイツ

3Dプリンター出力事業 - 医療分野における取り組み

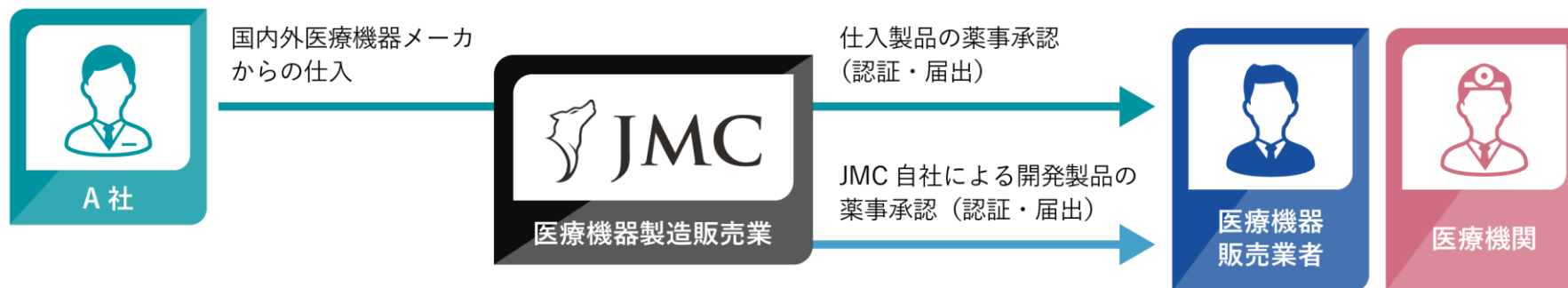
医療機器製造業

2018年8月9日付で「医療機器製造業（登録番号14BZ200303）」の登録が完了し、医療機器製造販売業者より、設計・製造の受託が可能になりました。



医療機器製造販売業

2018年8月28日付で「第1種医療機器製造販売業（許可番号：14B1X10020）」の許可を取得し、すべての医療機器の設計・開発・製造・薬事申請・販売を一貫して行うことが可能となりました。



鑄造事業 - 事業概要

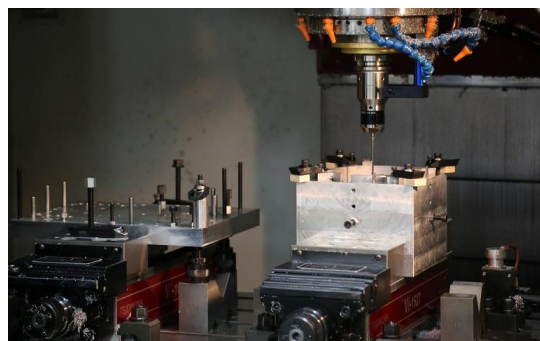


鑄造事業について

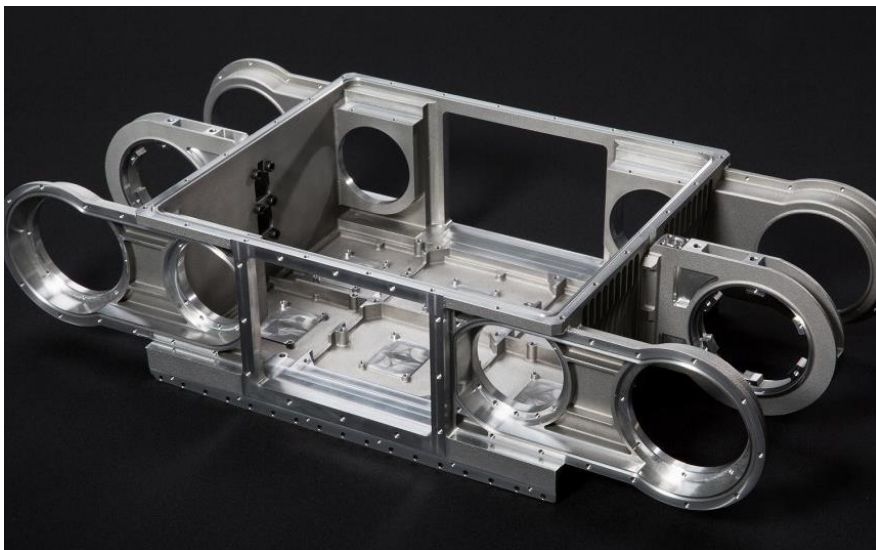
3Dプリンター出力事業で培った3次元CADデータのノウハウを活用し、砂型鑄造の工程を、データ作成から検査まで可能な限りデジタル化し、アルミニウム合金及びマグネシウム合金の試作品及び少量量製品の作製を行っています。

JMCの優位性

- デジタル化による育成ノウハウ
- 独自の砂型鑄造による高精度化
- 素材から加工まで一貫した製造工程による短納期の実現
- 多角的な検査手法による品質保証体制



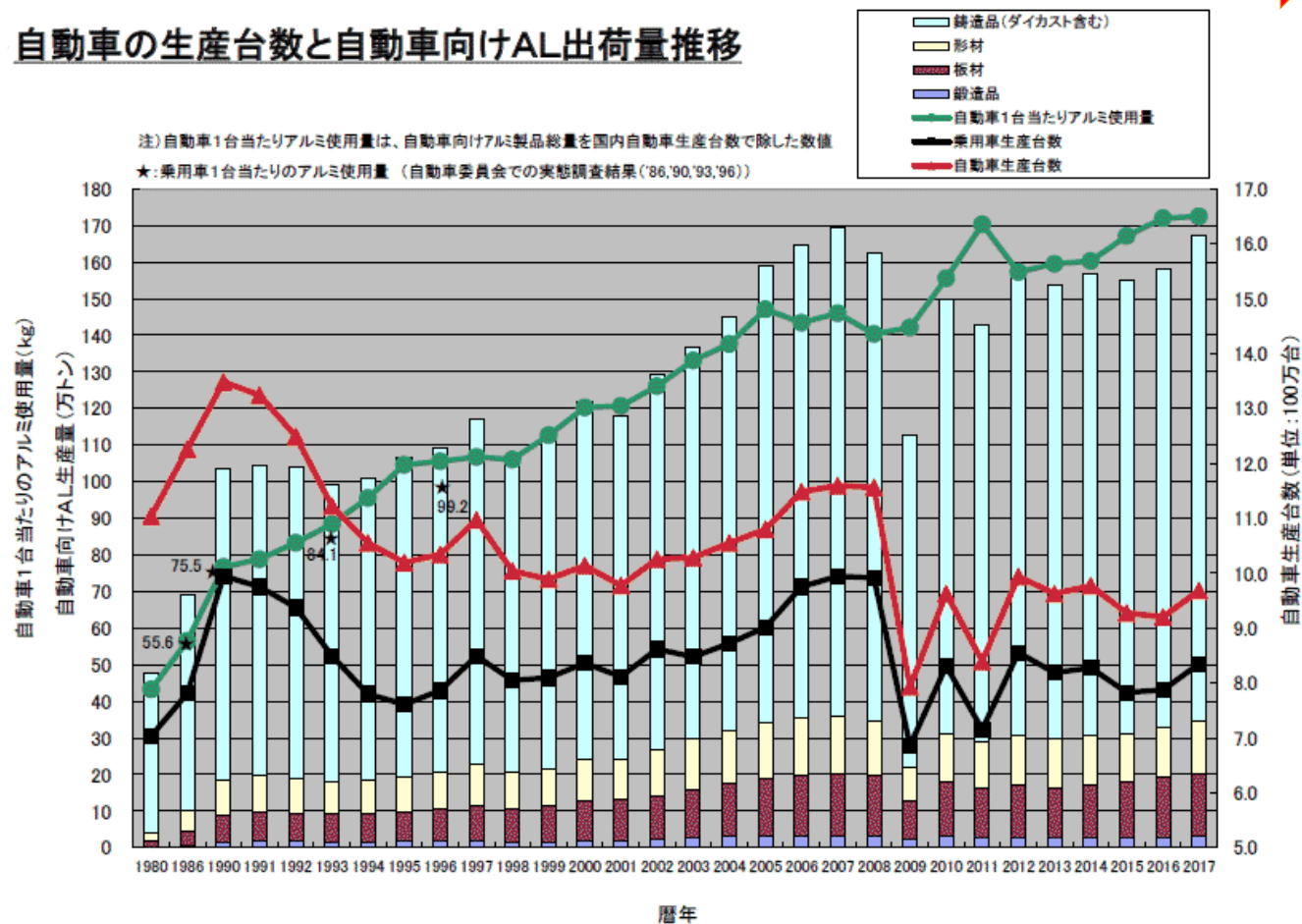
鑄造事業 - 製品例



生産台数が減少する一方、アルミニウム鑄造部品は急増

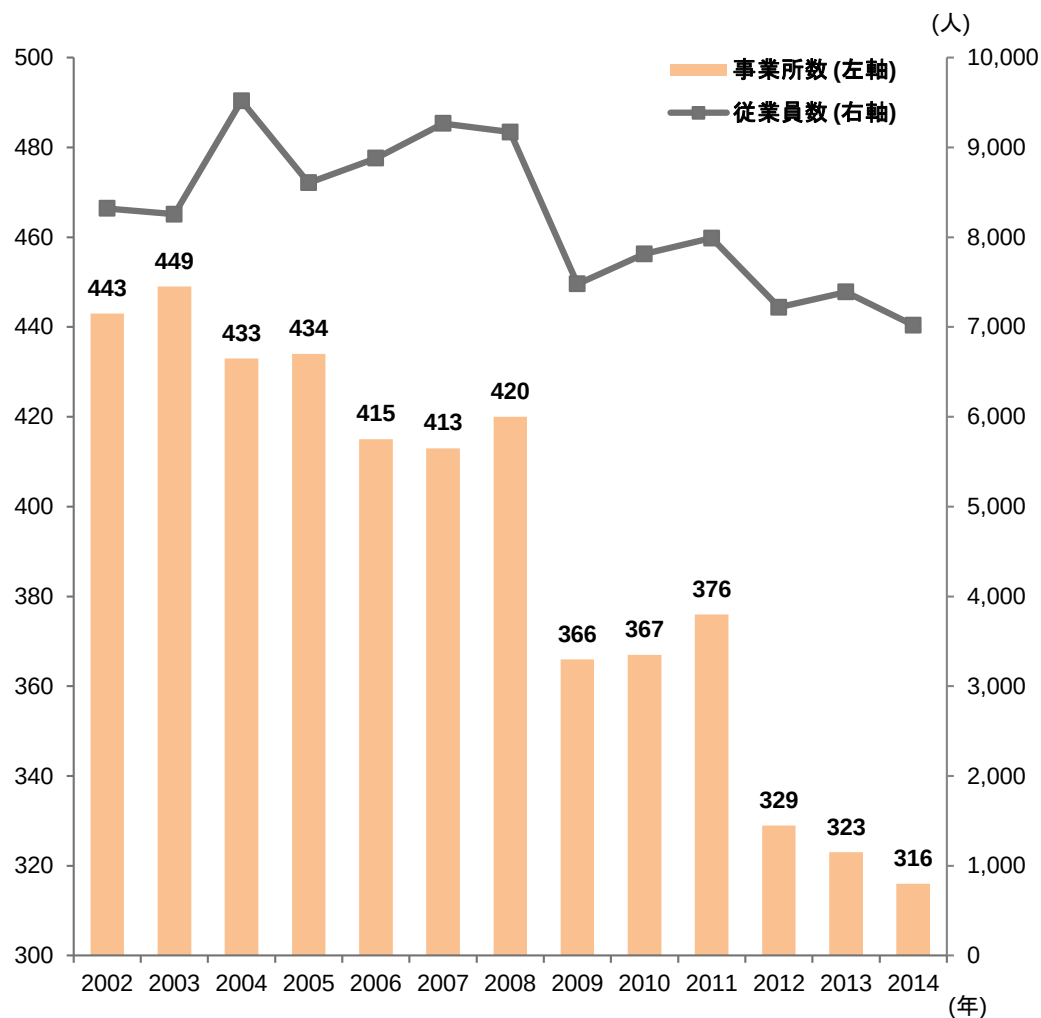
自動車1台当たりのアルミ使用量は30年で3倍以上に増加

自動車の生産台数と自動車向けAL出荷量推移



アルミニウム鑄造製造業者は減少傾向

非鉄金属鑄物製造業(銅・同合金鑄物及びダイカストを除く)の事業所数と重要因数



出所: 経済産業省 工業統計表 産業編

鑄造事業 - 当社の優位性(人員構成)

従業員の年齢構成

職人技術を汎用化(デジタル化)することで人材の有効活用を実現

鑄造事業従事者の
平均年齢

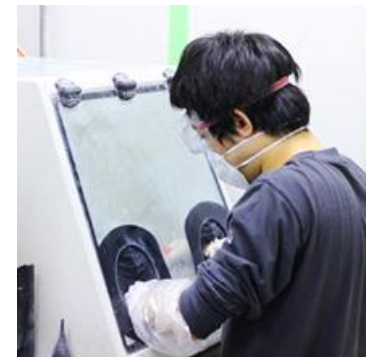
40.5歳

JMCの鑄造事業

一貫したデジタル技術の導入に
よって業界では異例の平均年齢

26.2歳

※2018年8月末時点



生産設備の増強

新鑄造棟の増設と設備増強によって、

鑄造工程における1日の生産能力最大で約1.4倍(当社前期比)

- 溶解炉、脱ガス処理装置、低圧鑄造設備、非接触測定機



新鑄造棟



低圧鑄造設備



溶解炉



アーム式非接触測定機

鑄造事業 - 中長期的な設備投資

新工場棟の建設

長野県飯田市に、鑄造事業の製造施設を建設予定です。

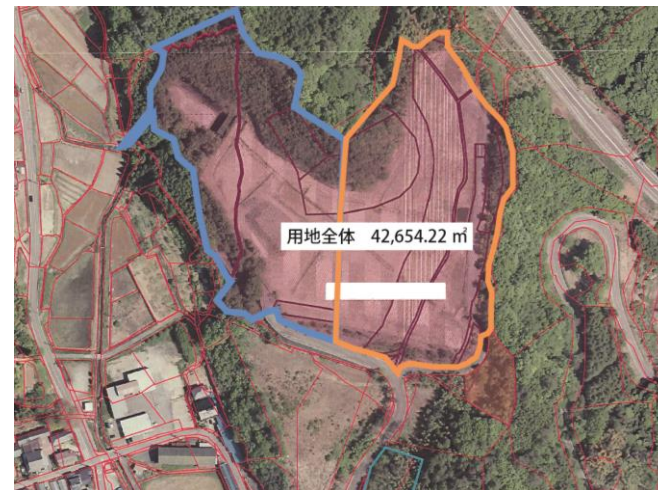
伊豆木センター(仮称)の建設

長野県飯田市に、鑄造事業の製造施設を建設予定です。

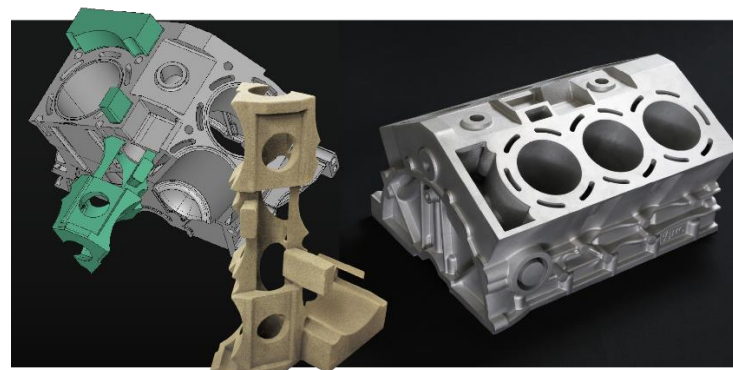
砂型3Dプリンターの導入

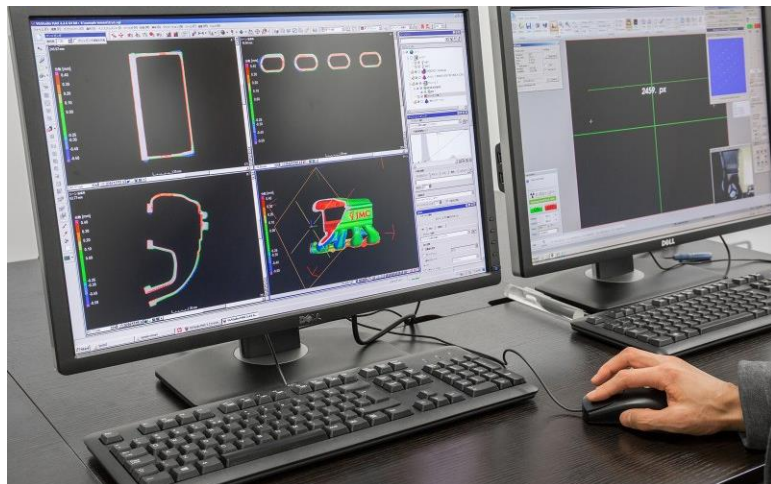
長野県飯田市に砂型3Dプリンター装置を導入予定です。

砂型3Dプリンターは、小ロットの鑄造品製造において、納期短縮とイニシャルコストの削減に寄与します。



伊豆木センター予定地





CT事業概要

JMCは産業用CTを使用し、お客さまからご支給頂いた試料を検査・測定するサービスを行っています。

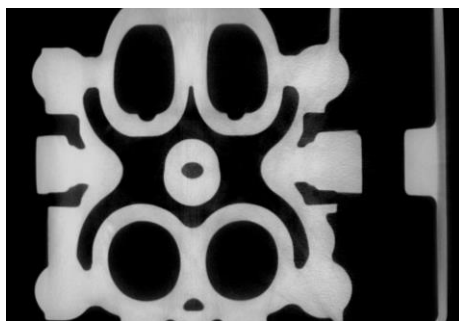
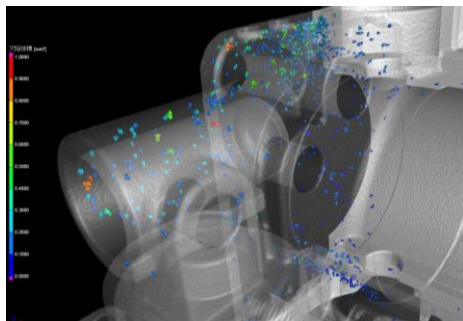
ハイエンド産業用CTによる短納期・高品質の撮影を特徴としています。



JMCの優位性

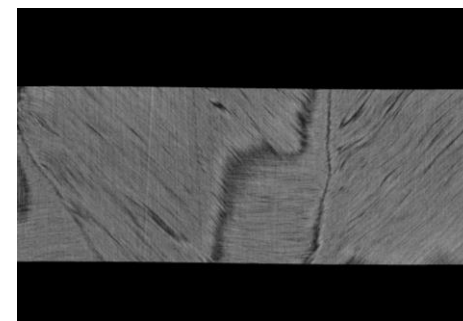
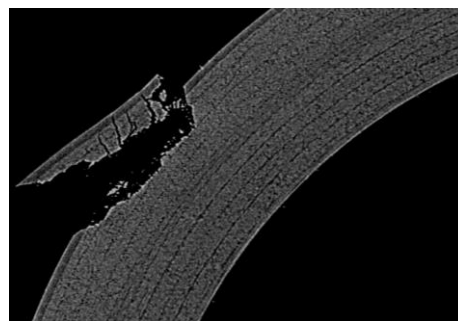
- 国内最大規模の装置保有台数
- 装置の販売代理店であること
- 他事業で培ったものづくりのノウハウ
- マーケットリーダーとしての立ち位置

鋳物の欠陥検出



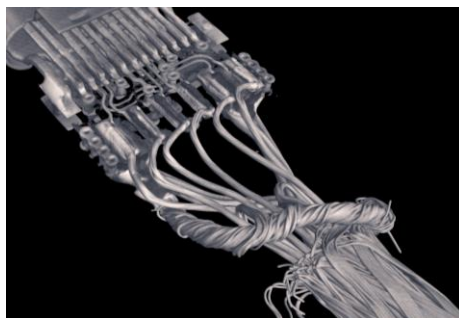
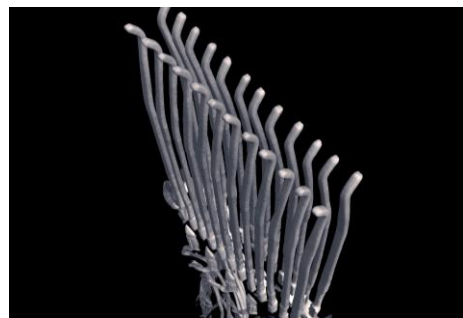
▲ 鋳巣の発生傾向をボリューム解析で可視化

CFRPの繊維の観察



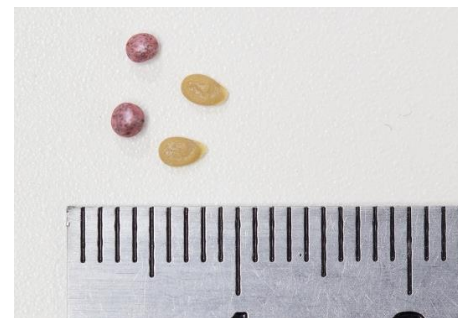
▲ 繊維の流れ、破断の様子を観察

不具合品の原因究明



▲ 原因不明の不具合があったコネクタ部品の検査

植物の構造の観察



▲ 種子の内部構造を観察

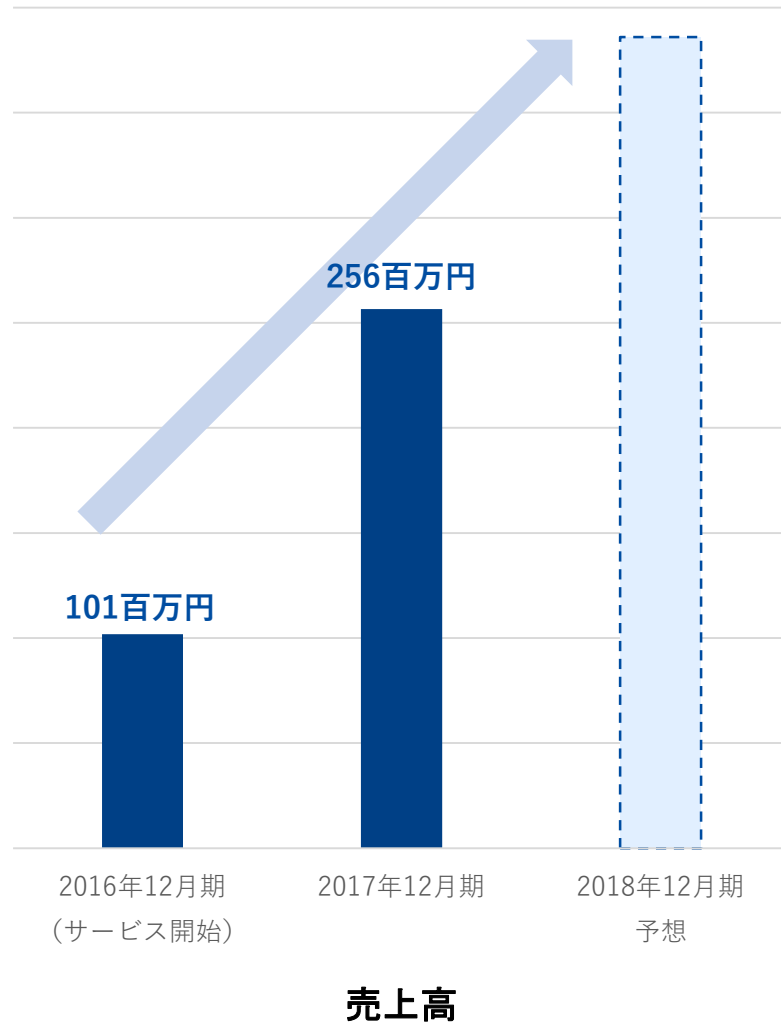
CT事業 - 売上高の推移と重点実行施策

CT事業の飛躍的な成長

2016年のサービス開始から市場開拓を進め、当期は3Dプリンター出力事業と同規模まで成長見込み

当期の重点実行施策

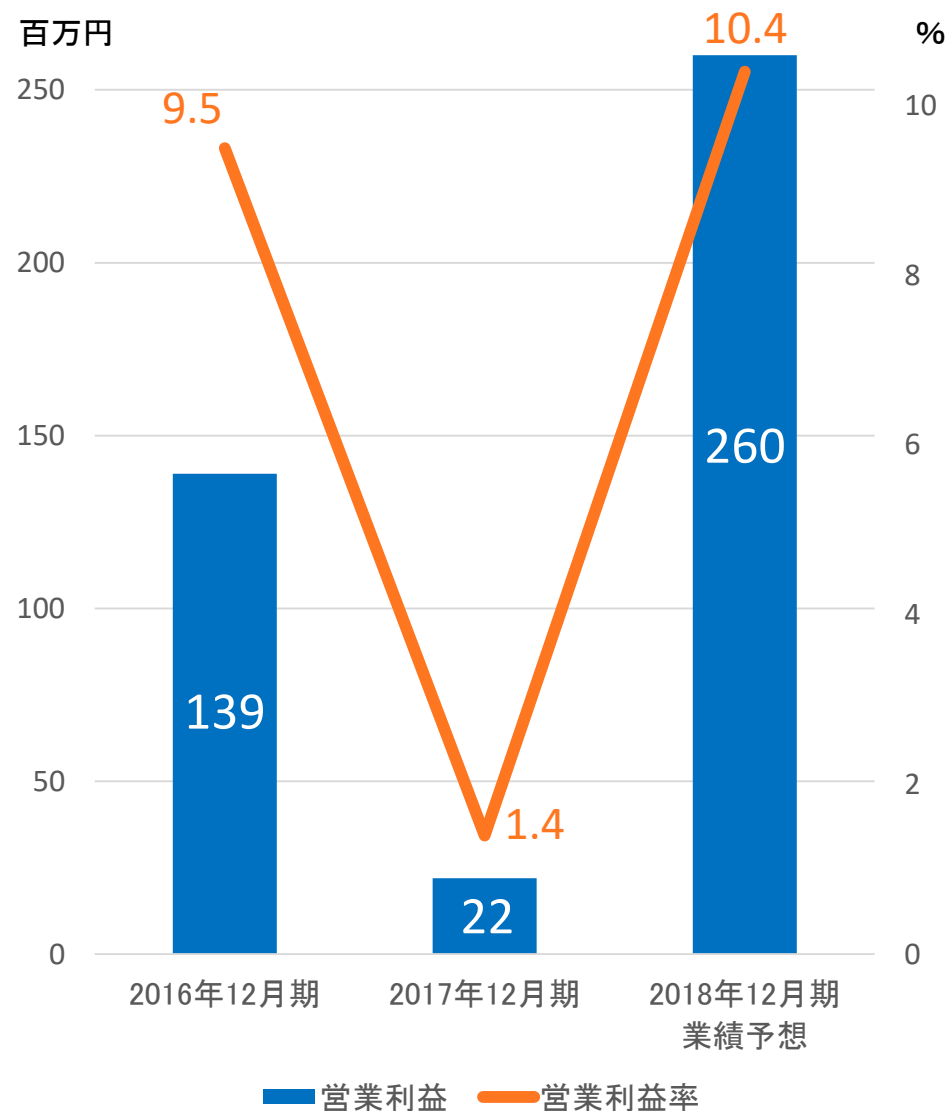
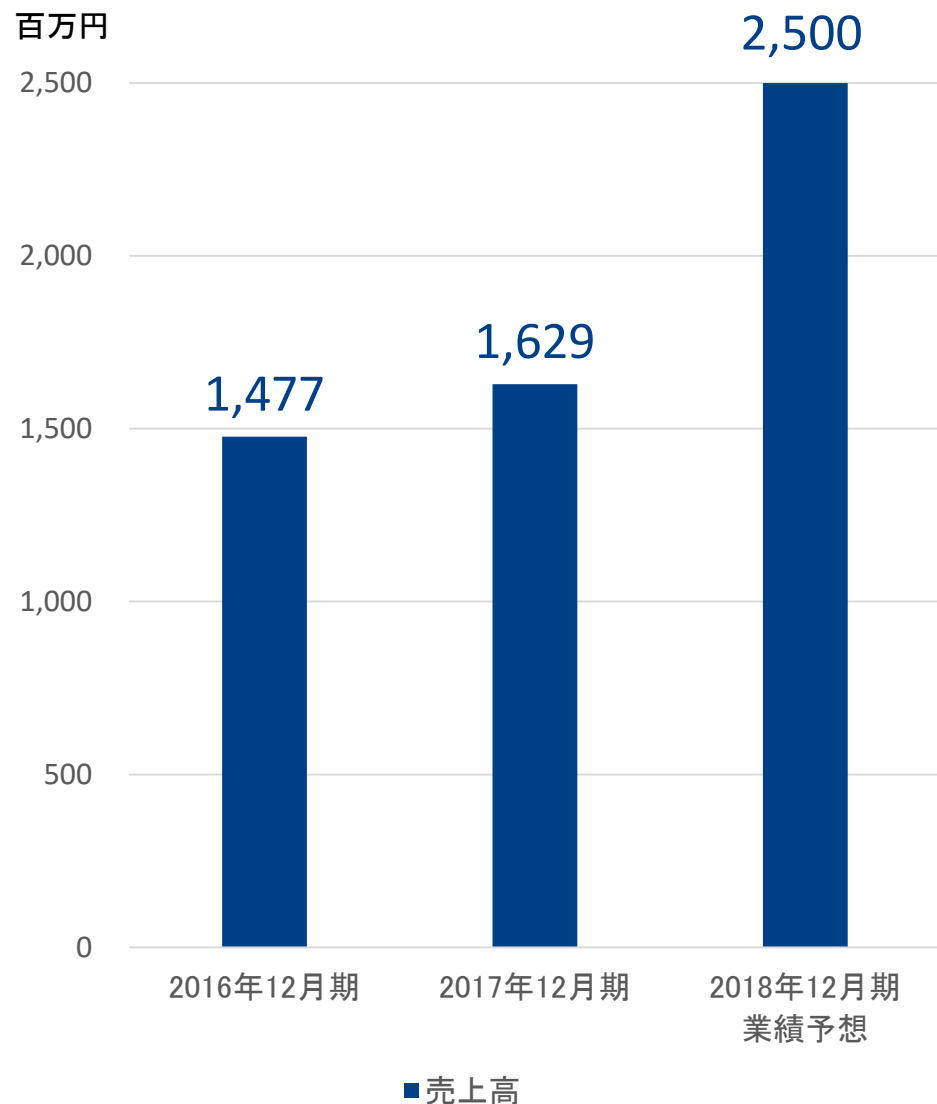
- ・ マーケット・リーダーとして市場規模拡大を推進
 - 展示会出展や、自社開催のセミナーによる技術普及、市場形成
- ・ 「データ解析ルーム」を本社に新設
- ・ 設備増強によるフルラインナップ化で日本最大級の撮像能力



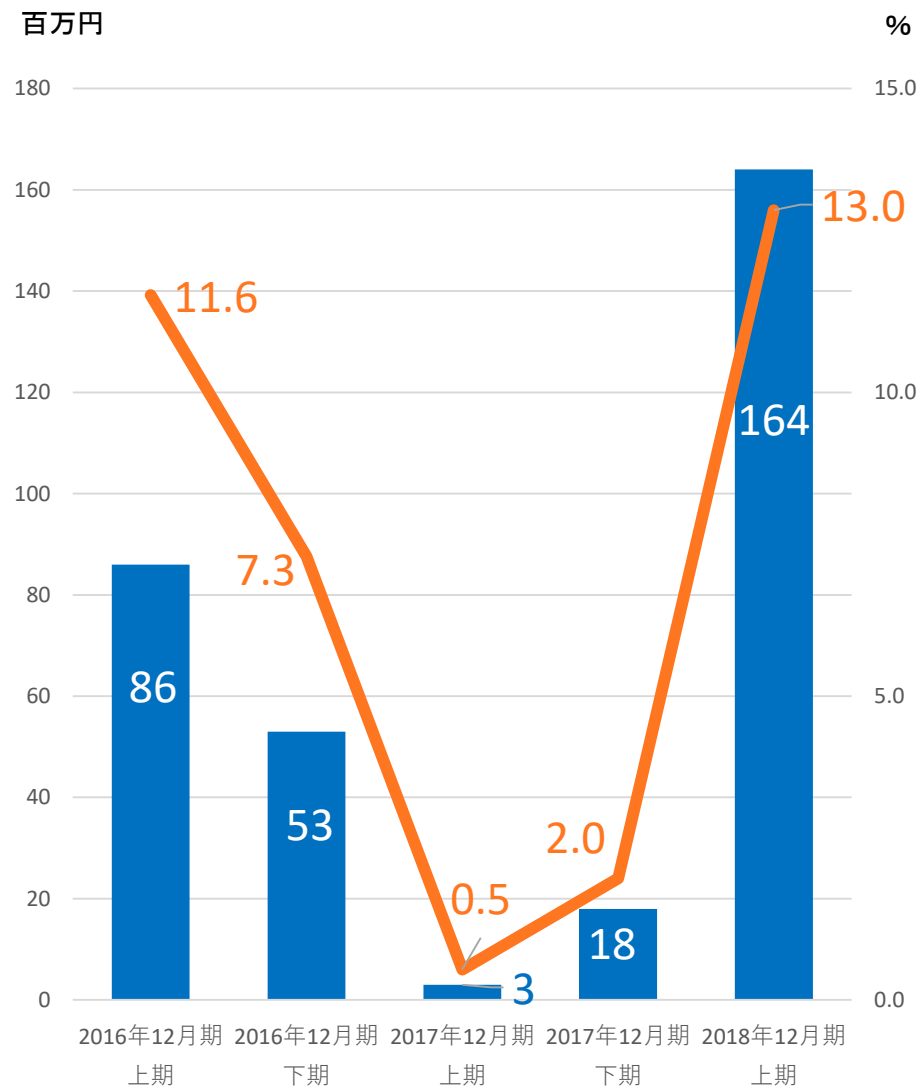
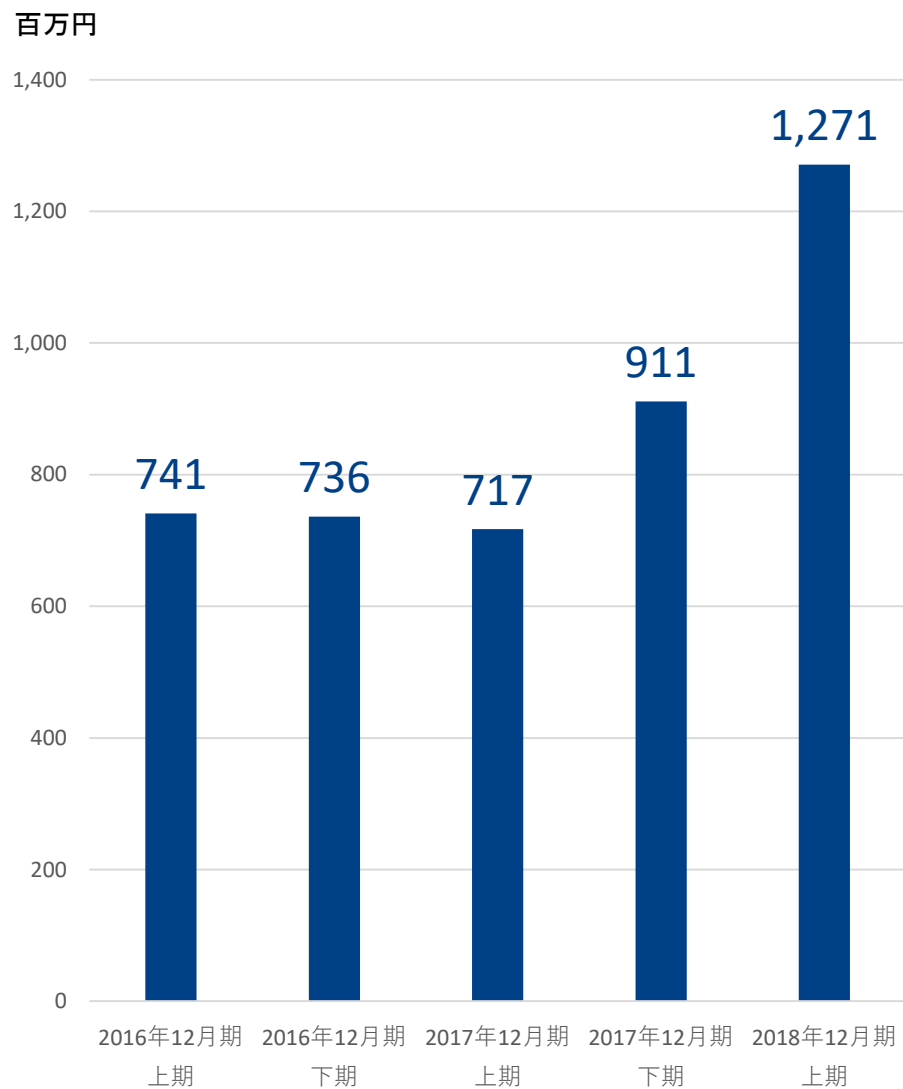
2018年12月期 通期業績予想

単位:百万円	2017年12月期	2018年12月期予想	増減額	増減率
売上高	1,629	2,500	+871	+53.5%
営業利益	22	260	+237	—
営業利益率	1.4%	10.4%	—	+9.0P
経常利益	28	261	+232	+810.2%
経常利益率	1.8%	10.5%	—	+8.7P
当期純利益	15	172	+156	+982.2%

売上高・営業利益の推移



半期売上高・営業利益の推移



株価の推移



(上図は各日終値を基にグラフ化したものです)

配当政策・株主優待について

配当政策・株主優待

当社は、経営成績及び財務状態を勘案しながら、株主への利益配当を実現することを基本方針としております。

しかしながら、現在は内部留保の充実及び業容拡大のため設備投資を優先して無配としております。

将来的には利益配当を目指していく方針ではありますが、配当実施の可能性及びその実施時期等については、現時点で未定であります。

同様に株主優待も、可能性及びその実施時期等については、現時点で未定であります。

株価対策

株価は株式市場が決定するものであり、当社の株価対策として株式市場に介入することはありません。

なお、当社が業績を伸長させ、企業価値を高めることが株価に反映するものと認識しております。

株主総会について



会場

神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目6番15号
新横浜グレイスホテル

ご出席頂いた株主の皆様にはお土産として横濱ハーバーをお渡ししております。

本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社JMC 経営企画室 IR担当

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

電話番号:045-477-5751 E-mail:ir@jmc-rp.co.jp